

累積報告数・累積定点当り報告数、疾病、都道府県別

2018年38週(09月17日～09月23日) 2018年09月27日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	668	0.14	6605	2.11	864	0.28	3701	1.18	9867	3.15	678	0.22
山梨県	2	0.05	74	3.08	-	-	11	0.46	38	1.58	3	0.13
中北	-	-	47	5.88	-	-	3	0.38	15	1.88	3	0.38
中北峡北	-	-	23	4.60	-	-	4	0.80	6	1.20	-	-
峡東	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.25	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1.00	-	-
富士・東部	2	0.22	3	0.60	-	-	4	0.80	14	2.80	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2018年38週(09月17日～09月23日)コメント

インフルエンザの報告がされ始められています。報告数は少ないものの、注意が必要です。
RSウイルス感染症は中北保健所管内、中北保健所峡北支所管内で報告数が多くなっています。主に秋から冬にかけて流行するウイルス性の呼吸器感染症で、症状は軽い風邪様から重い肺炎まで様々ですが、特に乳幼児では重症化しやすく注意が必要です。接触、飛沫により感染しますので、感染予防には咳エチケットの励行、手洗い、うがいが重要です。
伝染性紅斑は中北保健所管内で報告数が多くなっています。また、ヘルパンギーナは富士・東部保健所管内で依然として報告数が多くなっています。感染予防のため手洗い、うがいを励行しましょう。

【今週の警報】:なし

【今週の注意報】:なし

山梨県集計(2018年38週(09月17日～09月23日))で報告が多い疾病順

RSウイルス感染症	3.08 / 定当
感染性胃腸炎	1.58 / 定当
流行性角結膜炎	1.11 / 定当

全国集計(2018年38週(09月17日～09月23日))で報告が多い疾病順

感染性胃腸炎	3.15 / 定当
RSウイルス感染症	2.11 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.18 / 定当
ヘルパンギーナ	1.04 / 定当
流行性角結膜炎	1.02 / 定当

保健所別で報告が多い疾病順(2018年38週(09月17日～09月23日))

RSウイルス感染症	中北	5.88 / 定当
感染性胃腸炎	富士・東部	2.80 / 定当
流行性角結膜炎	中北峡北	2.00 / 定当

2018年38週(09月17日～09月23日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	116	0.24	-	-	6	0.01
山梨県	3	0.30	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	3	1.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】